米穀等安定生産・需要開拓総合対策事業のうち

持続的種子生產総合対策事業

令和8年度予算概算要求額 657百万円(前年度 - 百万円)

<対策のポイント>

稲、麦類及び大豆の種子生産に当たっては、熟練者の手作業を前提とした労働集約型の作業体系であり、担い手の減少と高齢化の進展により種子生産体制が脆弱化しつつある状況であるため、持続的な種子生産や多様なニーズに対応した生産・供給体制の構築に必要な取組を支援します。

原原種生産

原種生産

一般種子生產

〈事業目標〉

稲、麦類、大豆の国産種子需要に対する供給率(100%維持 [令和12年度まで])

く事業の内容>

1. 健全種子生産のための施設整備

100百万円

優良品種の普及に向け、原原種等の品質向上に必要な施設整備を支援します。

2. 種子生産への新規参入の促進支援

70百万円

- ① 新規参入の促進支援 新たに種子生産に取り組む農業者に対して支援します。
- ② 転用種子の活用支援

生産者の需要が種子の在庫を超過した場合に、食用のものを種子として活用するために必要な取組にかかる経費を支援します。

3. 種子生産の省力技術確立

100百万円

高度技術等を要する種子生産の省力化に資する技術の実装を支援します。

4. 新規導入品種の増産体制構築に対する支援

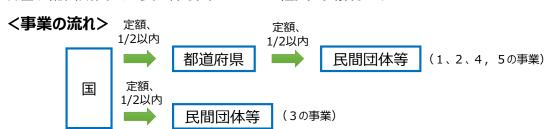
90百万円

多様なニーズに対応した新規導入品種への転換や新規種子生産者の育成に必要な種子生産・供給体制を構築するための取組や機械導入を支援します。

5. 需要変化に対応した種子供給体制の強化支援

297百万円

高温耐性品種などニーズの高い品種の緊急的な需要変動に対応するため、種子の 増産や備蓄期間の延長に係る実証のための経費を支援します。



く事業イメージ>





高い純度や無病性が 確保できる隔離施設

高い品質を維持可能な 品質保持施設

種子生産の省力技術確立





技術を要し、重労働で手間がかかる作業体系を AI等の活用や他品目での成果の横展開により軽労化

新規参入の促進支援

新規導入品種の増産体制構築に対する支援



新品種の導入や 新規種子生産者の参 入を支援

需要変化に対応した種子供給体制の強化支援 転用種子の活用支援





需要変化に対応した種子備蓄や種子転用の取組を支援

[お問い合わせ先]

種子生産に関わる各段階の

課題に総合的に対応

農産局穀物課

(03-3502-5965)